

2 ガイドブックの使用方法

(1) ガイドブックを使用する支援者（カンファレンスに参集するメンバー）

【院内】医師、NICU等の看護師、助産師、退院支援専任看護師、臨床心理士、退院調整看護師、MSW、小児科病棟・外来看護師、リハビリテーション専門職、薬剤師、歯科医師等

【院外】地域の在宅かかりつけ医師、訪問看護師、訪問リハビリ、学区担当保健師、医療的ケア児コーディネーター、薬剤師、歯科医師等

(2) 対象者

- ・ NICU や小児科等に入院している全児（初期スクリーニング）
- ・ 周産期からの一連の入院を経て退院する際に、退院後も医療的ケアが必要な児、または将来的に医療的ケアが必要と考えられる児
- ・ 後天的に医療的ケアが必要となった入院児

(3) 使用方法と使用する時期

- ① 入院から7日以内に、主治医や看護師等が初期スクリーニング（様式1）を実施
- ② 医療的ケア児の退院支援導入の流れ（スクリーニング）のフロー（p.5）に沿って退院支援の要否を決定
- ③ 入院初期から、各ステージにおける支援内容と役割のチェックリスト（様式2）をもとに多職種で退院に向けた支援を開始
- ④ 退院が見通せたら、再スクリーニング（様式1）、院内カンファレンスを実施
- ⑤ 在宅移行が決まったら、退院時申し送りシート（様式3）と支援者連絡票（様式4）を作成し、退院前カンファレンスで支援者と情報共有
- ⑥ 医療的ケア児の年齢12歳頃を目安に成人期移行に向けたアセスメント、多職種カンファレンスを実施